

記入例

受付番号※	令8奨
受付日※	

※事務局記入欄

申請日 令和8年 XX 月 XX 日

公益財団法人 G-7 奨学財団

代表理事 井上 登志男 殿

応募に関する注意事項

☆申請書類はパソコンで入力し、Ⅰ～Ⅴの申請書毎になるよう改ページの指定を厳守の上、片面印刷してください。(手書不可)印刷した書類に署名・捺印の上、提出してください。(但し奨学金申請書の奨学金担当者情報記入欄、推薦書の手書きは可、及び軽微な手書き修正は可とします。)

☆申請書類はステープラー(ホチキス)でとめないでください。まとめる場合は、ゼムクリップでとめてください。

☆誓約書は採択後に提出していただきます。申請時には不要です。

☆在籍大学や学年は令和8年度4月時点として記入してください。

申 請 者

申請者住所 ○○ 県○○ XX-XX

在籍 ○○ 大学法人 ○○ 大学

学部・学科等 ○○○○

学年 X 年

氏名 ○○ ○○ ⑧

令和8年度 奨学金助成事業(大学生、大学院生) 交付申請書

助成金の交付を希望しますので、下記の通り関係書類を添えて申請いたします。

なお、助成金の交付を受けた場合には、公募要領及び関係規程の定めに従います。

申請書類(奨学金助成)

Ⅰ 奨学金申請書

Ⅱ 奨学金申請理由書

Ⅲ 家庭状況調査書(1/2)

Ⅳ 家庭状況調査書(2/2)

Ⅴ 推薦書

☆付属書類として「成績証明書」及びⅢ 家庭状況調査書(1/2)に沿った「証明書」の提出が必要です。

改ページ

申請日 令和8年 XX 月 XX 日

奨学金申請書

申請者氏名(フリガナ)	〇〇 〇〇 (〇〇〇〇 〇〇〇〇)		写真(デジタル写真可) (縦4×横3cm) 申請時3ヶ月以内 カラー 正面、無帽、無背景 (裏に氏名記入)
生年月日	〇〇XX 年 XX 月 XX 日 (和暦)		
年齢	XX 歳 (令和8年4月1日時点)		
現住所	〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇XXX		
電話番号	XXX-XXX-XXXX ☆最も連絡のつきやすい番号を記入してください。		
E-Mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇		
在籍大学(院)名	〇〇〇〇		
学術分野	<input type="checkbox"/> 医学部医学科 <input type="checkbox"/> 医療系 (医学科を除く) <input type="checkbox"/> 自然科学系 <input type="checkbox"/> 人文社会系 <input type="checkbox"/> 芸術系 (美術・デザイン・音楽 等) ☆当てはまる学術分野1つにチェックを入れてください。		
学部・学科等	〇〇〇〇〇〇〇〇 ☆正式な学部・学科名等を記入してください。		
学年	<input type="checkbox"/> 学部 大学院(<input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士 <input type="checkbox"/> 専門職) <input type="checkbox"/> その他(〇〇〇〇) XX 年 ☆該当にチェックを入れ学年を記入してください。		
学校所在地	〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇XXX ☆通学するキャンパスの住所を記入してください。		
奨学金ご担当部署名	〇〇〇〇	電話番号	XXXX-XX-XXXX
奨学金ご担当者名	〇〇〇〇	E-mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇
卒業高校名	〇〇〇〇		〇〇XX 年卒
卒業・編入前大学(院)名	〇〇〇〇 ☆該当の方のみ記入してください。		〇〇XX 年卒
学部・学科等			
直近就労状況/勤務先 (フルタイム 1年以上)	〇〇XX 年〇月～〇〇XX 年〇月 〇〇〇〇株式会社 ☆該当の方のみ記入してください。		
身元保証人(フリガナ)	〇〇 〇〇 (〇〇〇〇 〇〇〇〇)		
申請者との関係	〇〇〇〇		
身元保証人住所	〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇XXX		
電話番号	XXX-XXX-XXXX ☆最も連絡のつきやすい番号を記入してください。		

上記のとおり、奨学金助成事業に応募書類を添えて申請いたします。

申請者署名: _____ (印)

身元保証人署名: _____ (印)

☆申請者及び身元保証人署名は手書きで記入し捺印を行った原本の提出が必要です。

☆奨学金申請理由書は全体で3ページ以内となるように記入してください。

☆各記入スペースは適宜調整してください。(写真図表の使用可、文字ピッチの変更不可)

☆成績証明書は原本の提出が必要です。

奨学金申請理由書

申請者氏名 ○○ ○○

在籍大学(院)名	○○○○
学部・学科等	○○○○
学年数/標準年数	<p>XX 年生/ 標準年数 XX 年</p> <p>☆例 医学部医学科3年の場合 3年生 / 標準年数 6年 と記入してください。</p>
大学等での 専攻内容	<p>☆専攻の学問の概要、及び自身がその学問を専攻する理由や取り組み方について説明してください。</p> <p>☆芸術関係の申請については、作品の写真やコンクール受賞歴など</p>
奨学金応募理由	<p>☆社会人経験者は復学の理由(目的)も記入してください。</p>
将来の 希望進路・職種	<p>☆将来、日本の社会・経済の発展のために、どのような分野に進み貢献しようと考えているか、その志について記入してください。下記の例も参考に、ご自身の具体的な将来像を示しながら説明してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 産業界への貢献例: ベンチャーの起業による新産業・サービス創出、既存企業のネットワークを活用した新事業創出 等 ■ 学術界への貢献例: 大学・研究機関で IT 関連技術開発や創薬研究への従事、教育者として人材育成への従事 等 ■ 行政への貢献例: 国や自治体での政策立案を通じた経済振興 等 ■ また、これらを実現するため、学生生活でどのような課題に取り組むか等についても触れてください。
その他特記事項	<p>☆課外活動や資格、発表、論文等あれば記入してください。</p> <p>☆芸術関係の作品の写真やコンクール受賞歴等あれば記入してください。</p>
直近の成績	<p>学部学生 1 年生 評定平均値 XX</p> <p>(高校3年間全科目の 5 段階評価の成績の平均値)</p> <p>学部学生2年生以上 標準 GPA X.XX (直近1年間の標準 GPA)</p>
過去採択実績	<p>令和○年度 ☆すべて記入してください。</p>

家庭状況調査書(1/2)

☆収入証明書等、家庭状況調査書(1/2)の証明書はコピーの提出を可とします。

申請者氏名 _____

(1) 家族の状況(令和8年4月1日時点)(同居 別居を問わない)

家族(申請者本人を含む同一生計の家族全員を記入のこと)						
番号	続柄	氏名	年齢	勤務先名/在籍学校名(学年)	就学者	就学者以外
1	本人	〇〇 〇〇	XX	〇〇大学 XX 年	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当
2	父	〇〇 〇〇	XX	〇〇〇〇商事	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
3	母	〇〇 〇〇	XX	無職	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
4	祖父	〇〇 〇〇	XX	無職	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
5	兄	〇〇 〇〇	XX	自営業	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 該当
6	妹	〇〇 〇〇	XX	〇〇高校 XX 年	<input checked="" type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 該当

(2) 家族全員の所得金額(令和7年1月～令和7年12月までの1年間)

氏名	給与所得	事業所得(確定申告額)	その他所得	その他所得の内容
〇〇 〇〇	XXX 万円	万円	XXX 万円	給付型奨学金
〇〇 〇〇	XXX 万円	万円	万円	
〇〇 〇〇	万円	万円	XXX 万円	年金
〇〇 〇〇	万円	XXX 万円	万円	
〇〇 〇〇	万円	万円	XXX 万円	家賃収入
-	遺族年金		XXX 万円	
-	養育費など別生計からの支援		XXX 万円	
合計	XXX 万円	XXX 万円	XXX 万円	(縦合計記入 要)

※収入証明書(源泉徴収票、確定申告書等(対象期間:令和7年(1月～12月)の所得がわかる書類)を提出してください。

成年未満および中等教育を受けている方も記入は必要ですが、収入証明の提出は免除します。

☆万円未満は切り捨てで記入してください。

☆奨学金はその他所得として給付型のみ記入してください。(貸与型は記入不要)

☆給与所得(支払金額)及び事業所得(所得金額)は、別紙参照の上記入してください。

(3) 特別の事情(該当にチェックをし、必要事項を追記してください。)

項目	該当	非該当
① 申請者は所得税法上の被扶養者である	<input checked="" type="checkbox"/> (扶養者: XXX)	<input type="checkbox"/>
② 申請者は第一種障害者に該当する(証明書提出必要)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 生活保護世帯である(証明書提出必要)	<input checked="" type="checkbox"/> (時期: 〇〇XX 年～)	<input type="checkbox"/>
④ 住民税の非課税世帯である(証明書提出必要)	<input checked="" type="checkbox"/> (時期: 〇〇XX 年～)	<input type="checkbox"/>
⑤ その他特別の事情があれば記入		

※④は令和7年度非課税証明書(対象期間:令和6年(1月～12月)の所得が成年以上の家族全員が非課税であることとします。成年以上の家族全員の非課税証明書を提出してください。

家庭状況調査書(2/2)

申請者氏名 _____

(1) 令和8年度(8年4月～9年3月)の住居予定を選択してください。

☒ 1人暮らし ☐ 学生寮/シェアハウス ☐ 家族同居 ☐ 親戚等宅
☐ その他 _____

(2) 令和8年度(8年4月～9年3月) 1年間に必要と考えられる費目(内容)の金額を記入してください。

費目(内容)	金額(万円)
① 入学金、授業料、実習費、教材費等の学校の諸費	XXX 万円
② 資格取得費用、留学費用、研究(発表含む)等の自己負担費用	XXX 万円
③ 家賃、敷金、礼金、火災保険、光熱費等(家族同居以外の場合のみ)	XXX 万円
④ 食費、日用消耗品、通信費等	XXX 万円
⑤ その他	XXX 万円
合計	XXX 万円

(3) 令和8年度(8年4月～9年3月) 1年間の収入の予定を記入してください。

内容		金額(万円)
奨学金 (給付型)	〇〇財団 (<input type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定) ☆G-7 奨学財団からの奨学金は記入しないでください。	XXX 万円
奨学金 (貸与型)	日本学生支援機構・一種貸与方 (<input type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定) 〇〇財団 (<input type="checkbox"/> 決定 <input type="checkbox"/> 未決定)	XXX 万円 XXX 万円
家族の支援		XXX 万円
本人の収入	時給/月給 円 × 時間(月) × 12 ヶ月 その他収入	XXX 万円
合計		XXX 万円
アルバイト等ができない場合はその理由		

(4) G-7 奨学財団 奨学金希望額

金額 XXX 万円

主たる使用用途(目的)

＜＜在学生用＞＞

☆各大学の推薦書様式がある場合は、当該様式は不要です。

☆新入生が令和8年度在籍する大学で直接推薦を受ける場合は在学生用を使用してください。

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団

代表理事 井上 登志男 殿

奨学金申請者情報（令和8年度4月時点） ☆申請者本人が記入してください。			
大学(大学院)名	〇〇〇〇		
学部・学科等・ 学年	〇〇〇〇学部 〇〇〇〇学科 X年		
申請者氏名	〇〇 〇〇		
推薦情報 ☆以下は推薦者、在籍する大学で記入してもらってください。（手書き 可）			
推薦者名	〇〇 〇〇	学生との関係	〇〇〇〇
推薦者所属校	〇〇 〇〇	推薦者電話番号	XXX-XXXX-XXXX
推薦理由			

推薦校記入欄：

上記の生徒は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。

日付 令和8年 X月 XX日

推薦者署名 ㊞

☆推薦者署名は手書きで記入し捺印が必要です。

学 長(学部長)名 ㊞

☆ゴム印可とします。

<<新入生・編入生用>>

☆令和8年4月以前の在籍校にて記入し、令和8年度の在籍大学での承認が必要です。

☆内部進学の場合は、在学生用を使用してください。

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団

代表理事 井上 登志男 殿

奨学金申請者情報(令和8年度4月時点) ☆申請者本人が記入してください			
大学(大学院)名	〇〇〇〇		
学部・学科等・ 学年	〇〇〇〇学部 〇〇〇〇学科 X年		
申請者氏名	〇〇 〇〇		
推薦情報(令和8年度4月以前の在籍校) ☆以下は推薦者、推薦する学校で記入してもらってください。(手書き 可)			
推薦者名	〇〇 〇〇	学生との関係	〇〇〇〇
推薦者所属校	〇〇 〇〇	推薦者電話番号	XXX-XXXX-XXXX
推薦理由			

推薦校記入欄:

上記の生徒は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。

日付 令和8年 X 月 XX 日

推薦者署名 ⑩

☆推薦者署名は手書きで記入し捺印が必要です。

校長/学長(学部長)名 ⑩

☆ゴム印可とします。

令和8年度在籍大学追認欄:

上記の内容を確認し、貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め承認します。

日付 令和8年 X 月 XX 日

学長(学部長)名 ⑩

☆ゴム印可とします。

公益財団法人 G-7奨学財団
代表理事 井上 登志男 殿

☆誓約書は採択通知を受け取られた後に、提出いただきます。(申請時不要)

誓 約 書

私は、公益財団法人 G-7 奨学財団(以下「財団」と云う。)の令和8年度の奨学金助成事業の給付を受けるに当たり、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

第 1 項 奨学金の支給休止又は廃止若しくは返還

下記の(1)及び(2)に定めるいずれかに該当することになった場合は、奨学金の支給を休止又は廃止する。
(2)に定める場合には、奨学金の一部又は全部を返還する。

(1) 奨学金の支給休止

次に定める事項に該当する場合においてその理由及び原因によっては奨学金を廃止する。

- ① やむを得ない事情により大学を休学又は長期にわたって欠席したとき
- ② 学業又は素行などの状況により指導上必要があると認めたとき
- ③ 在学する大学より短期間の停学処分を受けたとき

(2) 奨学金の廃止

- ④ 傷い疾病などのため成業の見込みがなくなったとき
- ⑤ 学業成績又は操行が不良となったとき
- ⑥ 在学する大学における学籍を失ったとき
- ⑦ 在学する大学より長期間の停学処分を受けたとき
- ⑧ 財団の事務局と連絡が取れなくなったとき又はその指示や指導に従わなかったとき
- ⑨ 財団の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
- ⑩ 奨学金事業に関して財団に対する虚偽の申請または報告があったとき
- ⑪ 知りえた個人情報等を第三者に漏洩した事実があったとき
- ⑫ 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

第 2 項 財団への報告義務

次に定める場合、速やかに財団事務局へ届け出ること

- ① 前第 1 項に定める状況及び状態になったとき
- ② 在籍校、住所、電話番号やメールアドレス等、連絡先を変更したとき
- ③ 進級できなかったとき
- ④ 休学又は復学したとき
- ⑤ 退学したとき
- ⑥ その他、財団が奨学金の継続にあたって必要となると認める事項に変更があったとき

第 3 項 財団による確認及び判断

前第 2 項に定める①及び③から⑥の場合、財団は事実を確認し、第 1 項に従い奨学金の支給休止又は支給の再開若しくは廃止を判断して、それを実施する。

令和8年4月1日

住 所
氏 名

印

別紙) 家庭状況調査書(1/2) (2)家族全員の所得金額 記入について

1名ずつ、下記緑マーカ一部の金額を記入してください。

☆給与所得のみで確定申告を行っていない方・・・給与所得の源泉徴収票の支払金額(控除前)
複数の勤務先がある場合は合計の金額を記入してください。

令和 年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者		住所又は居所		受給者番号		個人番号		氏名		氏名(フリガナ)	
種類	別	支払金額	給与所得控除後の金額(調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額						
(源泉)控除対象配偶者の有無等	控除対象配偶者(特別)	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)	16歳未満扶養親族の数	障害者の数(本人を除く。)	非居住者である親族の数						
社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額								
(摘要)											

☆(一部給与所得がある方を含め)確定申告を行った方・・・事業(確定申告)所得金額
収入金額から必要経費を差し引いた金額(所得金額)

令和 年 月 日 令和 0 年分の 所得税及び復興特別所得税の 申告書B

住所	個人番号	フリガナ	氏名	性別	職業	雇用・番号	事業主の氏名	事業主との関係
生年月日	生年月日	電話番号	自宅・勤務先・携帯					
収入金額等	所得金額	税	計	算	所得	その他		
事業等⑦	事業等①	課税される所得金額(①-②)又は第三表上の②に対する税額又は第三表の②	配当控除	配当	復興特別所得税額(④×2.1%)	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑤)	外国税額控除	源泉徴収税額
不動産⑧	不動産③	災害減免額	申告納税額(⑥-⑦-⑧)	予定納税額(第1期分・第2期分)	第3期分の税額(⑨-⑩)	納める税金	配偶者の合計所得金額	専従者給与(源泉)額の合計額
利子⑨	利子④	復興特別所得税額(④×2.1%)	第3期分の税額(⑨-⑩)	納める税金	納付される税金	青色申告特別控除額	雑所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額	未納付の源泉徴収税額
配当⑩	配当⑤	外国税額控除	源泉徴収税額	申告納税額(⑥-⑦-⑧)	予定納税額(第1期分・第2期分)	第3期分の税額(⑨-⑩)	納める税金	納付される税金
給与⑪	給与⑥	災害減免額	復興特別所得税額(④×2.1%)	所得税及び復興特別所得税の額(④+⑤)	外国税額控除	源泉徴収税額	申告納税額(⑥-⑦-⑧)	予定納税額(第1期分・第2期分)
雑⑫	雑⑦	申告納税額(⑥-⑦-⑧)	予定納税額(第1期分・第2期分)	第3期分の税額(⑨-⑩)	納める税金	納付される税金	配偶者の合計所得金額	専従者給与(源泉)額の合計額
総合課税・一時⑬	総合課税・一時⑧	第3期分の税額(⑨-⑩)	納める税金	納付される税金	青色申告特別控除額	雑所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額	未納付の源泉徴収税額	
合計⑭	合計⑨	配偶者の合計所得金額	専従者給与(源泉)額の合計額	青色申告特別控除額	雑所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額	未納付の源泉徴収税額		
社会保険料控除⑮	社会保険料控除⑩							
小規模企業共済等掛金控除⑯	小規模企業共済等掛金控除⑪							
生命保険料控除⑰	生命保険料控除⑫							

☆給与所得(複数)や給与所得と事業所得の両方がある場合は確定申告に基づき、申告書の所得金額の合計額を事業所得の欄に記入してください。